人権・同和教育シリーズ㉔④

自分自身を見つめる

地域人権教育指導員　平井靖彦

【問い合わせ先】人権啓発・男女共同参画推進課 ☎0968(25)7209

阪神・淡路大震災

1995年1月17日の午前5時46分に、阪神・淡路大震災が発生しました。私が起きた6時頃に届いた第1報では、そこまでの被害は想像できていませんでした。しかし、当時勤務していた学校に登校した8時過ぎには、ニュースでは驚くような光景が映し出されていました。

この震災をきっかけに防災計画やボランティア活動支援などが改正・整備されていったことは誰もが知るところです。しかし、あまり知られていないことの一つに、被差別部落の被害の実態があります。

このことは、神戸新聞が震災3年目の1997年に「震災と被差別部落」という特集記事で伝えています。記事の中では被災状況とともに、避難生活の中で経験するさまざまな形の部落差別に苦しむ当事者の様子が記されています。

神戸新聞NEXT

熊本地震

今年は熊本地震から10年です。被災直後から私もいくつかの被差別部落を訪れました。指定避難所に行かずに、地元の集会所に身を寄せ合っている方々ともたくさん出会いました。

県央地区の被差別部落では、「指定避難所に行くのは怖い。なんて言われるか分からん。ここが一番安心しておらるっ」と話すばあちゃんに出会いました。

実際に、県内のある避難所では、避難してきた市民の方を指して「あん人は○○の人だろ」という発言があったそうです。

差別は命の問題

当時、このような事例がいくつあったのかは確認できていませんが、阪神・淡路大震災の時のように、表出した部落差別意識が当事者を苦しめたのは事実です。

災害時の避難の場面でこのようなことが起きるのは深刻なことです。「差別は命の問題」という言葉が現実のものとして感じられた出来事でした。

また、女性、障がい者、性的マイノリティ、医療的支援を要する人などに対する避難時の支援の在り方も問題となりました。

そこに「差別」が介在していなかったのか。その検証があまりなされていないのではないかと思います。改めて考える必要があります。

自分自身を見つめる

災害時には、社会の中に潜む差別意識が顕在化するといわれます。コロナ禍でも同じことがいわれました。「差別心」は私を含め、だれの心にも潜んでいます。

だからこそ、さまざまな研修に積極的に参加し、自分自身を見つめ直す作業が必要です。そのためには、部落差別に限らず、さまざまな当事者の声を聴かなくてはなりません。

「はい！こちら菊池市消費生活センターです！」㊻

【問い合わせ先】菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450 (月)～(金) 午前10時～正午、午後1時～4時（福祉課）

広告と異なる商品が届く ネット通販に注意！

「SNSで『歯医者に行く必要がない入れ歯』の動画広告があり、シリコン製で簡単に装着できてフィットする様子を見て、値段も安かったので注文したが、おもちゃで使われている樹脂製の素材でフィットせず、全く使い物にならなかった。販売業者に返品を求めるため連絡したが全く応答がない」という事例がありました。

このように広告と全く異なる商品が送られてきたという相談が増えています。国内の大手家電メーカーはロゴを無断で使用され、扇風機やファンヒーターを安価で販売されたため、ホームページにて注意喚起をしています。

トラブルに遭わないためには、正規品と比べ極端に安い価格で売られていたり、販売業者や連絡先が明記されていなかったりといった特徴を確認することが重要です。少しでも怪しいと思った場合には、ネットで該当品の詐欺の書き込みがないか確認するようにしてください。

また、販売サイトは海外であることが多く、配送を仲介する業者の連絡先が宅配便の伝票に記載されているケースもあります。そこに返品・返金の連絡をするか、電話がつながらない場合はセンターにご相談ください。

固定電話の故障・解約に関して

「自宅の電話が通じなくなったので修理したい」、「電話を解約したいが、どこに連絡すればよいのか分からない」、「事業者へ電話してもなかなかつながらない」という相談が多くなっています。

修理や解約の場合、大手通信事業者の窓口に依頼するのが通常ですが、電話を掛けるとアナウンス音声で要件に該当する番号を押すように案内が流れ、番号を押しても混雑してなかなかつながらないケースも多いようです。このような場合、センターで手助けできる場合もありますので、ご相談ください。

◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道㉒

【問い合わせ先】観光振興課 ☎0968(25)7223

◆日田地域に残る 菊池一族の事跡

「鯛生」地名の由来

大分県日田市中津江村には、金山（跡）で有名な「鯛生」という地名があります。実は、この鯛生という地名に、菊池一族が関係していることをご存じでしょうか（他説もあります）。

江戸時代の終わりに、現地に伝わるさまざまな昔話をまとめた「豊西説話」という本が作られました。その中に、鯛生の地名の由来が、次のように書いてあります。

「中西村に鯛生（鯛植）という所あり、田島舎人という武士昔此所に住居せり、肥後の国菊池と内縁あり、或時菊池より大鯛2尾送り来る。舎人家人に申しつけ右の鯛を地に植えたりと云ひ伝う。今に女鯛男鯛石となりて不浄を嫌う。よりて其所を鯛植と号す。」

意訳すると「田島舎人というこの地域を治めていた豪族に、菊池一族との縁談があって一族の娘が嫁いできた。菊池氏（の当主）は縁談を喜び、舎人に大きな雌雄の鯛を2匹送ったところ、鯛が飛び跳ねてそれぞれ2つの岩に張り付き、その岩が鯛生岩と呼ばれるようになったことから、鯛生と呼ばれるようになった」ということです。

さらに、鯛生金山ガイドブック「鯛生金山物語」にもこの説が採用され、建武・延元年間（1334年～1340年）の出来事、と記載されています。この頃の菊池一族の当主は、ほぼ13代武重にあたります。当主が直接関わっているのかは断定できませんが、縁起物とされ貴重な食材であった鯛を手配し、贈ることができるような立場の者となると、武重も関わっていた可能性は高いように思えます。

菊池の七人塚

同じく中津江村の柿の谷という集落に「菊池の七人塚」（日田市指定文化財）という塚があります。戦に敗れて逃れてきた菊池一族の重臣とその家臣が、この地で切腹して果てたため、その供養のために自然石を用いて造られた、とあります。明治時代の中頃までは重臣の塚が一つだけ祭られていましたが、後に埋葬されている人数分、重臣の塚を囲うように配置し、現在の形になりました。地域の皆さんにより、大切に守られています。

ちなみに、この菊池一族の重臣、とは誰だったのでしょうか。実は、柿の谷集落はこの重臣たちの子孫によって拓かれたといわれており、「赤星」という名字が多いそうです。断定はできませんが、何かの関係があるとも言えそうです。

前回は愛媛県八幡浜市を紹介しましたが、姉妹都市の宮崎県西米良村、友好都市の岩手県遠野市はもちろんのこと、これまで紹介してきた以外の地域にも菊池一族の事跡や一族が関わった（と伝えられる）場所は全国各地に数多く残されています。これは、菊池一族の活躍や影響がとても広い範囲に及んでいたことを示す何よりの証拠です。

菊池の七人塚

※個人の敷地内ですので、見学の際にはご注意ください

地域おこし協力隊通信

vol.82 ‖ 菊池デジタル推進コーディネーター

山脇はるかさん

デジタル推進に向け、講座を開催 2つのイベントも開催予定！

■公民館主催講座で講師を務めました！（6月～7月）

デジタルマスター育成講座「デジタルだって怖くない！」（全6回）の講師を務めました。生成AIの利点や注意点の座学だけではなく、菊池市や県の公式アプリの使い方を順番に受講者が発表していく形式で教え合いました。

班での話し合いでは「より良く教えるにはどうすれば良いか」などの議題でグループワークを実施。参加者からは「早速、生成AIを活用することができて、問題を解決することができました」といった声が聞かれました。

受講者が自ら発表

■夏休みプログラミング講座（7月24日、8月6日・20日）

プログラミング言語のScratchやPythonの他、VBAや電子回路シミュレータを用いた信号機回路の作成などを実施。プログラミング言語や仕組みを遊びながら楽しく学びました。参加者からは「さらに詳しく知ることができて楽しかった」といった感想がありました。

参加者募集中！（詳細は二次元コードから）

❶ 子ども食堂でのプログラミング教室
　とき　1月11日(日) 午前11時～午後1時
　ところ　ひのくにスマイル食堂

❷ 第1回きくちタイピング大会
　とき　2月15日(日) 午後1時～3時
　ところ　中央公民館 大研修室

❶申し込み　❷申し込み

【問い合わせ先】情報政策課 ☎0968(25)7249